

【基礎ドリル】不定詞①

1. 次の文の () 内から適する語 (句) を選びなさい。

(1) I wanted to (become / became / becomes) a teacher.

(2) Tom likes to (make / made / makes) a doll.

(3) Mary studied hard to (be / is / are) a teacher.

(4) They want something to (eat / ate / eats).

2. [名詞用法] 次の文の動詞部分を、(1)~(3)は<like to+動詞の原形>という形にして「~するのが好きだ」という文に、(4)~(6)は<want to+動詞の原形>という形にして「~したい」という文に書きかえなさい。その際、時制にも注意しなさい。

(1) I listen to music.

→ I () () () to music.

(2) He plays tennis.

→ He () () () tennis.

(3) Tom sang a song.

→ Tom () () () a song.

(4) They go there.

→ They () () () there.

(5) Ken studied English.

→ Ken () () () English.

(6) Mary is a teacher.

→ Mary () () () a teacher.

3. [形容詞用法] 次の英文を日本文になおしなさい。

(1) You have a lot of work to do.

(2) He has no time to play tennis.

(3) I want something to drink.

4. [副詞用法] 次の英文を日本文になおしなさい。

(1) I went to the park to play soccer.

(2) He went to the library to study English.

(3) Mary is happy to see you again.

(4) They were surprised to hear the news.

(5) We came to Japan to study Japanese.

(6) Why did you come here?—To see my brother off.

解答

1. 次の文の () 内から適する語 (句) を選びなさい。

- (1) I wanted to (become) a teacher.
- (2) Tom likes to (make) a doll.
- (3) Mary studied hard to (be) a teacher.
- (4) They want something to (eat).

・不定詞 to の後の動詞は主語が何であろうと必ず原形にする

2. [名詞用法] 次の文の動詞部分を、(1)~(3)は<like to+動詞の原形>という形にして「~するのが好きだ」という文に、(4)~(6)は<want to+動詞の原形>という形にして「~したい」という文に書きかえなさい。

(1) I listen to music.

→ I (like) (to) (listen) to music.

(2) He plays tennis.

→ He (likes) (to) (play) tennis.

・ like に3人称単数の s をつける点に注意。

・ play には s をつけない点に注意。不定詞 to の後の動詞は必ず原形になる。

(3) Tom sang a song.

→ Tom (liked) (to) (sing) a song.

・ sang を原形にする点に注意。不定詞 to の後の動詞は必ず原形になる。

(4) They go there.

→ They (want) (to) (go) there.

(5) Ken studied English.

→ Ken (wanted) (to) (study) English.

・ studied を原形にする点に注意。不定詞 to の後の動詞は必ず原形になる。

(6) Mary is a teacher.

→ Mary (wants) (to) (be) a teacher.

・ be 動詞の原形は<be>。

3. [形容詞用法] 次の英文を日本文になおしなさい。

(1) あなたにはする (べき) 仕事がたくさんある。

・ <【名詞】 +to+動詞の原形>で「～する (という、ための、べき)【名詞】」と訳す。

(2) 彼にはテニスをする (ための) 時間はない。

(3) 私は飲むもの (飲むための何か) が欲しい。

4. [副詞用法] 次の英文を日本文になおしなさい。

(1) 私はサッカーをするために公園に行った。

・ to play soccer は went という動詞を修飾する副詞の働き。

(2) 彼は英語を勉強するために図書館に行った。

・ to study English は went という動詞を修飾する副詞の働き。

(3) メアリーはあなたにもう一度会えてうれしがっている。

・ <感情を表す形容詞+to+動詞の原形>で「～して【形容詞】」と訳す。

・ to see you again は happy という形容詞を修飾する副詞の働き。

(4) 彼らはその知らせ (ニュース) を聞いて驚いた。

・ <感情を表す形容詞+to+動詞の原形>で「～して【形容詞】」と訳す。

・ to hear the news は surprised という形容詞を修飾する副詞の働き。

(5) 私たちは日本語を勉強するために日本に来た。

・ to study Japanese は came という動詞を修飾する副詞の働き。

(6) あなたはなぜここに来たのですか?—兄を見送るためです。

・ Why~?の疑問文に対して<To+動詞の原形~.>「～するためです」と答えることができる。

・ see~off 「～を見送る」